

# 地域資源を原料とした堆肥やジェネリック農薬の有効活用

高知県

株式会社VFC



経営耕地面積合計	主な生産品目（露地野菜）			売上規模	従業員体制
9.5ha (借地含む)	レタス 6ha	キャベツ 3ha	はくさい 0.5ha	5,000万円以上	常勤4~6名 パート数名

## 資材の仕入れ等にかかる独自の取組み

- 特定の仕入れ元に依存せず、**複数の仕入れルートと比較し最適なものを選択**。資材販売店やECなどを比較し、価格・成分・機能で合理的に判断。
- 肥料は**成分や価格面で優位性のあるJAのオリジナル商品を主に使用**。
  - ・**地元自治体（土佐市）が運営するコンポストセンター製の下水汚泥由来堆肥（100円/袋）も活用し、肥料費を圧縮**。
- 農薬は必要とする農薬の仕入れが得意な販売店から、まとめ買いすることで単価を引き下げ。
  - ・機能が同等であれば、**安価なジェネリック農薬**や代替品への切り替えも積極的に検討。
  - ・ホームセンター価格も比較対象とした価格検証実施。
- 農業機械は、主にメーカー系販売会社などの専門販売店から購入。農業機械の新品導入と20年間の長期使用方針。積載効率向上による走行回数削減など、現場での継続的な経費削減。

## 導入効果

- 下水汚泥由来堆肥を1袋（15kg）100円で仕入れ**。一般的な化学肥料と比較して大幅な肥料費削減を実現。
- まとめ買いと**ジェネリック剤の購入**により、**農薬単価を15~20%程度削減**。**農薬費だけで年間約40万円の削減効果**。
- 農業機械の導入においては、初期投資額の安さよりも、長期的な維持費や耐用年数を含めたトータルコスト低減。

項目	削減内容	表示
肥料	下水汚泥堆肥活用 JAオリジナル品	大幅削減
農薬	ジェネリック等	▲20%
農機	長期使用	トータルコスト低減